

産業廃棄物処理計画書

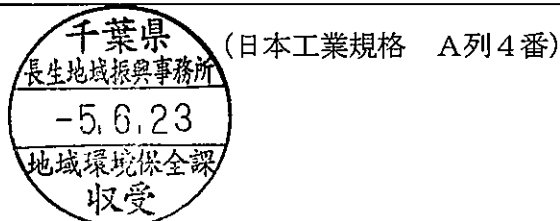
令和5年6月23日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒297-0033
 住 所 千葉県茂原市大芝452番地
 氏 名 妙中鉱業株式会社
 代表取締役社長 妙中信太郎
 電話番号 0475-24-0140

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

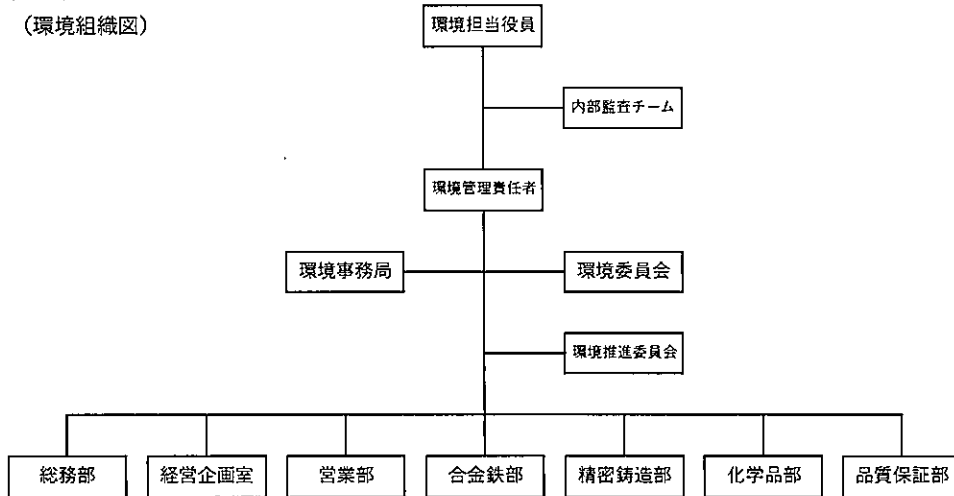
事業場の名称	妙中鉱業株式会社
事業場の所在地	千葉県茂原市大芝452番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類:製造業 中分類:非鉄金属製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額347億円
③従業員数	187人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(環境組織図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4年度 ）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	排出量	
	(これまでに実施した取組) 耐火物の回収利用、空ドラム・廃パレットの再利用、廃フレコンの回収、製品不良率の削減、原料の小口購入から大口購入による容器の削減、試薬の必要最小限の購入。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) 引き続き現状の取組を行いながら、より一層の排出削減に努める。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鉍さい、汚泥、がれき類、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動物性残渣、金属くず、ガラス・陶磁器くず、木くず ↓ 廃棄物ごとに分別管理している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鉍さい、汚泥、がれき類、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動物性残渣、金属くず、ガラス・陶磁器くず、木くず ↓ 分別化率の向上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
① 現状	【前年度（ 4年度 ）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 空ドラム、廃パレットの再利用	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、空ドラム、廃パレットの再利用	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
① 現状	【前年度（ 4年度 ）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組) 廃酸と廃アルカリを中和処理することによる廃棄物の削減		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組) 引き続き、廃酸と廃アルカリを中和処理することによる廃棄物の削減		

(第4面)

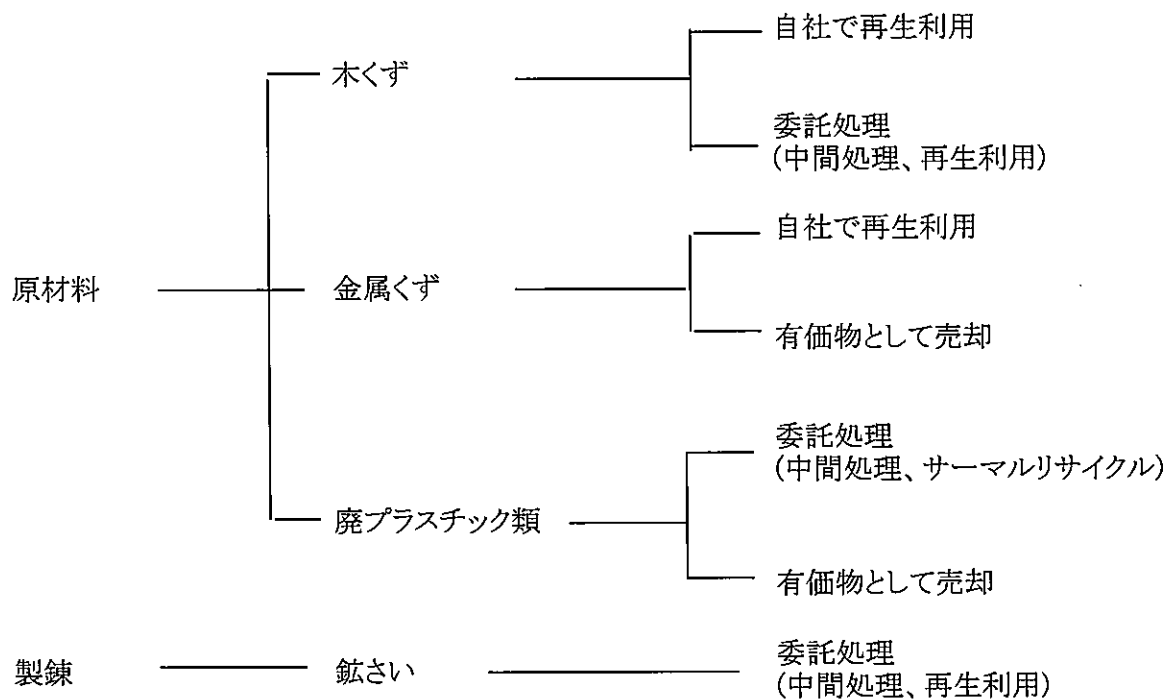
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	
① 現状	【前年度（ 4年度 ）実績】
	産業廃棄物の種類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
	別紙2のとおり
(これまでに実施した取組) 自社で埋立処分又は海洋投入処分を行っていない	
②計画	【目標】
	産業廃棄物の種類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
	別紙2のとおり
(今後実施する予定の取組) 引き続き、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	
① 現状	【前年度（ 4年度 ）実績】
	産業廃棄物の種類
	全処理委託量
	優良認定処理業者への処理委託量
	再生利用業者への処理委託量
	認定熱回収業者への処理委託量
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
別紙2のとおり	
(これまでに実施した取組) 自社で発生する廃棄物は可能な限り、再生利用又は熱回収ができる委託業者に処理委託している	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、自社で発生する廃棄物は可能な限り、再生利用又は熱回収 ができる委託業者に処理委託をする	
※事務処理欄		

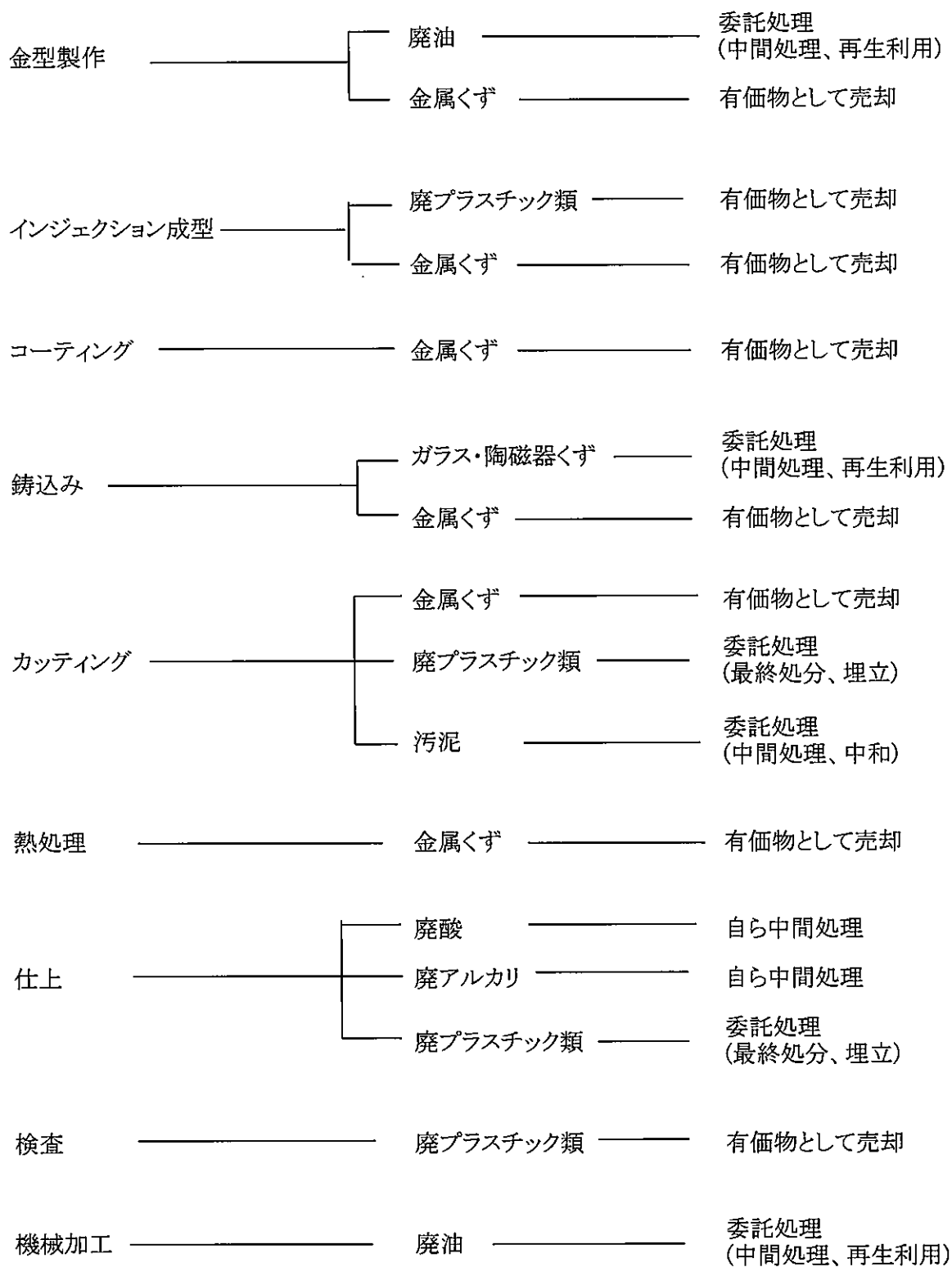
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

フェロモリブデン、三酸化ブリケット製造



鑄造品製造



産業廃棄物処理工程別紙1

医薬品原末、食品添加物製造

原材料 ———— 廃プラスチック類 ———— 委託処理
(中間処理、焼却、サーマルリサイクル)

溶解・精製 ———— 汚泥 ———— 委託処理
(中間処理、再生利用)

晶析 ———— 廃油 ————

自社で再生利用
委託処理 (中間処理、焼却)

産業廃棄物処理工程別紙1

保全作業

鋼材 ————— 鉄くず ————— 有価物として売却

機械修理 ————— 廃油 ————— 有価物として売却

産業廃棄物処理計画書別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(4年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	排出量	2475.9t	95.87t	21.78t	24.31t	31.2834t	5.244t	15.515t	14.41t	0.35t	23.09t	272.245t	72.693t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	排出量	2630t	95t	20t	25t	30t	5t	15t	15t	0t	20t	270t	70t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(4年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	6.48t	0t	28.883t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	7t	0t	28t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(4年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	5.2t	15.475t	0t	0t	0t	0t	0t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	5t	15t	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(4年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(4年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	2475.9t	95.871t	21.78t	24.31t	31.2834t	0.044t	0.04t	14.41t	0.35t	16.61t	272.245t	43.81t
	優良認定処理業者への処理委託量	1037.91t	7.921t	21.78t	0.81t	0t	0.044t	0.04t	1.99t	0.35t	0t	0.075t	0t
	再生利用業者への処理委託量	2475.9t	95.871t	21.78t	0t	31.2834t	0.044t	0.04t	1.99t	0t	16.61t	269.975t	43.81t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	10.57t	0.35t	0t	0t	0t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	2630t	95t	20t	25t	30t	0t	0t	15t	0t	13t	270t	42t
	優良認定処理業者への処理委託量	1300t	7t	20t	0t	0t	0t	0t	1t	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	2630t	95t	20t	0t	30t	0t	0t	1t	0t	13t	270t	42t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	11t	0t	0t	0t	0t